

第2学年 〔单元名〕 Homestay in the United States.

P 〔单元の目標〕

- ・ 話すこと（やり取り） 自分のスケジュールや、家や学校のルールについて、「する必要のあること」や「しなければならないこと」を伝え合うことができる。
- ・ 書くこと 日本の習慣やマナーについて、簡単な語句や文を用いて書くことができる。

D 〔单元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
1	既習文法を活用して、自分自身について伝えたり、相手の情報を理解したりする活動場面を設定する。	①
2	外国の文化と日本の文化の違いを、観光ではなく“留学（生活）をする”という視点で考える機会を設ける。	②
3	「実際に留学生を受け入れるとしたら、どんなアドバイスをするか」という、目的・場面・状況を設定することで、お互いの文化を理解することの大切さを考えさせる。	③
4	【参考資料】話すこと（発表）の単元でのパフォーマンステストの実施について	④

C

〔单元の目標の達成状況〕

- ・ 既習文法を使って、自分の家庭や学校のルール、「する必要のあること」や「しなければならないこと」など、自分自身について互いに伝え合うことができた。
- ・ 既習文法や簡単な語句を使って簡単な英文を書くことはできたが、状況や場面に応じた文を正しく書くことは十分にできなかった。

A

〔改善の方向性〕

- ・ 単元の目標の達成に繋がるよう、ねらいを明確にした「聞く」「話す」「書く」の場면을適宜設定する。
- ・ まとまりのある英文を読んだり、聞いたりして、その情報の中から場面や状況を判断し、自分自身の表現活動につなげられるようにする。
- ・ 内容確認のやり取りも英語で行うことを意識する。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

1 既習文法を活用して、自分自身について伝えたり、相手の情報を理解したりする活動場面を設定する。

〔生徒の活動〕

- 授業の最初にSmall Talkの時間を設定し、既習文法を使って互いに自分自身のことを伝え合う。



- 既習文法を使って、自分自身についてロイロノートに英作文をし、それを用いてペアで互いに伝え合う。



黒板に会話のヒントがあり、それを参考にペアを変えながら対話をする。→

← 単語の練習の際も挨拶からスタート。ペアをどんどん入れ替えて行う。

〔教師の指導〕

- 英語で授業をする雰囲気づくりができるよう既習の言語材料を使って自分事として対話したり、本単元での言語材料を用いて対話をしたりする場面を設定することで本時の展開につなげる。
- 単語の練習の際もペアで行う。
- Small Talkや前時の振り返り等を活用して教師と生徒、生徒間でやり取りをし、文法事項の確認をしながら活動につなげる。
- 活動の途中に英作文のポイントが確認できるように板書を工夫する。



〔工夫点〕

- 正しさよりも、対話を続けることに重点を置き、挨拶や相槌、やり取りを行う工夫を大切にする。
- ただ対話をして終わらないように、全体で振り返る場面を位置付ける。
- 生徒が提出した英文を使い、表現の確認やパターン練習を繰り返し行う。
- 文法の誤り等があった場合はその場ですぐに共有し、全体で確認する。

単元の目標の達成に向けた手立ての具体

2 外国の文化と日本の文化の違いを、観光ではなく“留学（生活）をする”という視点で考える機会を設ける。

〔生徒の活動〕

- 日本と外国で異なる文化や習慣についてのクイズに答える。



- それぞれが日本と外国で異なる文化や習慣についてタブレットを使って調べ、その結果を既習文法を使って英文にまとめる（個人思考）。それをグループで交流し、興味深い内容のものをひとつ選び、全体で発表する（集団思考）。

〔教師の指導〕

- 異文化への興味や関心を高める雰囲気づくりをする。クイズ形式にすることで、思考する意欲が高まるとともに、ゲーム的要素を含むことで失敗を恐れることなく発表や表現をする雰囲気をも高める。
- クイズの解答の際は、その国や文化の背景などの補足をする。
- 本単元の言語材料である must, must not, have to, don't have to, 動名詞を使った文を活用して表現することを確認する。
- グループで交流し、最も興味深いものを選ぶよう指示する。班員全員が同じ内容だった場合は、再度調べ直してよいものとする。

〔工夫点〕

- 「観光」でなく、「留学（生活）」をするのだという前提を示す。
- この際の英文の提示の仕方が、次の生徒の活動のモデルになるようにする。
- より多様な異文化を調べる機会にしたり、英作文の仕方を互いにアドバイスし合ったりできるように、グループ交流とした。
- 未履修の単語や文法の誤りは全体交流の中で触れる程度にとどめている。

<教師のクイズ例>

In America, we **have to pay the tips** when we use a taxi, a restaurant, hotels and so on.

In Japan, we **don't have to pay** the tip there.



<生徒のスライド>

In Egypt, they **must not eat** pork. ① 仔細(丸焼き用)

In Japan, we enjoy eating pork.



In Italy, we **have to pay** money when we use a public toilet.



In Japan, we **don't have to** pay money when we use a public toilet.

In Japan, we **have to hold an umbrella**.



In abroad, we **don't have to** hold an umbrella.

In America, we **don't have to** speak in honorific language.

In Japan, we **have to** speak in honorific language to a superior



単元の目標の達成に向けた手立ての具体

- 3 「実際に留学生を受け入れるとしたら、どんなことを伝えるか」という、目的・場面・状況を設定することで、互いの文化を理解することの大切さを考えさせる。

〔生徒の活動〕

- 「海外からの留学生に、日本の習慣やマナーを伝えよう！」というテーマでテキスト1枚にまとめる。

Unit 4 Homestay on the United States

海外からの留学生に、日本の習慣やマナーを伝えよう！

これから日本への留学を考えている海外の学生が、ホームステイ先を探しています。もし自分の家に留学生を迎えようとしたら、どんなルールやマナーを伝えますか？ また、家族と一緒にどんなことを楽しむことができるかを伝えるためのポスターを作成しよう！



パフォーマンステストの際には
① 目的・場面・状況
② 評価の規準
を明記し、生徒に提示する。

〔教師の指導〕

- 事前に調べた外国の文化を参考にして、留学生に伝える内容を考えるよう伝える。
- 「自分の家に留学生を迎える」という場面を設定し、家族で過ごす際のマナーや、一緒に楽しめることを表現するよう伝える。

- テストの内容・方法・モデル文等は、全生徒に配付して生徒自身がいつでも確認できるようにする。

〔工夫点〕

《テストの内容と方法》

- ① テキスト1枚にまとめる。
- ② 次の2つを必ず記載する。
 - ★ あなたの家でのご過ごすのに必要なルールやマナーを2つ以上紹介しよう。
 - ★ あなた自身やあなたの家族と一緒に楽しめることを1つ紹介しよう。
- ④ イラストや画像を使用してもよい。
※ 補助的にしようとするものとする。目安は原稿全体の1/8程度まで
- ⑤ 完成したら、提出箱に提出する。

【提出された生徒の作品】

(右上) 条件を満たしている…B
(下図) 条件以上+ポスターの工夫…A

welcome!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
You can enjoy playing soccer with me.



You have to wash the dishes after you finish eating.
You must not stay up late at night.
Please come to house!!



~Welcome our house~

We can enjoy drawing some pictures and taking some pictures together ! !

My house rules

- We must take off shoes when we go into my house.
- We have to help my parents housework.
- We must not watch TV by 4 p.m.
- We do not have to wash the dishes.

Please come to our house ! ! !

Welcome to our house!

We can enjoy playing games, drawing pictures, writing liberate, and so on! But you have to follow the roles in my house.

the roles in my house are as follows.

- We have to get up 6:00 a.m. and go to bed 9:00 p.m.

- If you don't understand something, please ask us anytime.

- If you have dissatisfied things, please consult us.

- When you want to go somewhere, you have to tell one of us place to go and time to go back home. Don't forget to bring your smartphone at that time.

You may think that it's difficult to live there... But don't be shy! We support you as much as possible!

< 参考資料 >

4 話すこと（発表）の単元でのパフォーマンステストの実施について

〔生徒の活動〕

- 自分で決めたテーマについてタブレットを使ってアンケートを実施し、その結果を分析し発表内容を整理する。（個人思考）
- 必要に応じて個別にやり取りをしたり、発表をし合ったりする。（ペア・グループ活動）

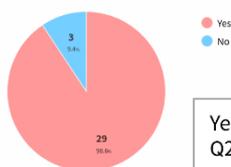
〔教師の指導〕

- 教科書本文の内容理解を通して、活動内容や評価のポイントなどを把握するよう促す。
- 教科書の内容理解を通して、自分が発表する際に活用できる表現や、発表する際に大切にすべきポイントなどを確認する。

〔工夫点〕

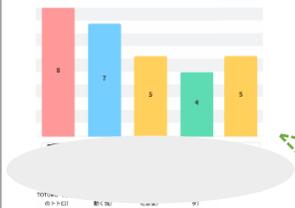
- グラフや表などを効果的に活用し、相手にわかりやすい発表ができるよう促す。
- 原稿はあくまでも補助的なものであり、グラフを活用して、相手に伝わるプレゼンテーションができるよう促す。

Q1. Do you like Ghibli movies?



Yes →

Q2. Which Ghibli movies do you like ?



興味を引くテーマの設定や、わかりやすいグラフの作成など、様々な工夫が見られた



教科書の“Feedback Sheet”に基づいてパフォーマンス評価を実施



Feedback

Group: A Speaker: Josh Your Name: Kaito

CONTENT	Very Good				Needs Work	
	5	4	③	2	1	
Easy to understand						
Interesting	⑤	4	3	2	1	
DELIVERY						
Voice	⑤	4	3	2	1	
Eye contact	⑤	4	3	2	1	

プレゼンテーションに続いて、ALTによる英語での質疑応答で話すこと（やり取り）も実施